札幌市産業人材創出推進本部　～次なる100年を見据えて～　資料４

▶設置目的

札幌市においても生産年齢人口の減少が始まっており、企業における労働力不足は深刻な状況となっている。建設分野をはじめ、今後も需要が見込まれる福祉・医療・介護分野などにおいて、外国人材も含め、その技能や専門性を存分に発揮できる環境づくりと人材確保に取り組んでいくため、札幌市産業人材創出推進本部を設置する。

▶推進本部体制

札幌市産業人材創出推進本部

本部会議

本部長（市長）

副本部長（副市長）

構成員（関係局長）

幹事会

構成員（関係部長）

例）労働力不足業界支援分科会

・労働力の掘り起こし、マッチング、就業環境の整備について取り組む

例）外国人材受入支援検討分科会

・外国人材の受入に係る支援について検討を進めて行く

プロジェクトチーム

・個別具体のテーマについて掘り下げ
・他の推進本部等との連携

連携

多文化共生に係る庁内連携連絡会議（総務局等）

・別に設置する学識経験者や外国人市民などから構成する有識者懇話会と連動する形で、保健福祉、医療、教育、子育て、コミュニティ振興、災害時対策等を所管する各部局と、外国人との共生に係る課題を共有し、施策・事業の連携強化を図る。

▶現在の課題

1　企業側の労働力需要の変化

平成26年下期から平成30年上期にかけて、市内企業の景況感は好転しており、労働力需要が増している。

2　従業者数及び労働力人口の変化

・男性の労働力人口が減少する中、女性の労働参加は進んでいる。
・しかし、労働力不足の背景として、新たな労働参加の多くは医療・福祉分野に吸収され、他業種には十分にいきわたっていない。
・建設業における従業者は高齢化が顕著、一方で女性や若年層の入職は、ほとんどない状況。医療、福祉においては、30～50代の女性にボリュームゾーンがあり、短時間労働の女性の労働参加により支えられていると推測。各業界ともに労働需要が高まる中、人材の確保ができず労働力不足が発生

▶今後の取組

1　労働力不足の解消に求められる取組

①魅力ある仕事づくり　→　就業環境の整備、生産性の向上ほか
②産業人材の掘り起こし　→　女性、高齢者のさらなる就労ほか
③マッチングの支援　→　人手不足業界への人材供給ほか

2　今後求められる新たな取組

①各業界における労働力需給状況の把握 →　業界ヒアリングほか
②外国人材の受入検討　→　外国人材の受入に係る支援の検討ほか

▶推進に係るスケジュール

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
本部会議 幹事会	本部会議 分科会設置	分科会随時開催								幹事会 & 本部会議
		業界ヒアリング等		他都市事例研究			施策の検討			